平成 20 年 8 月 5 日 原子力人材育成関係者協議会

原子力人材育成に係る取組について

背 景

○ 原子力を巡る状況

- ・基幹電源としての役割
- ・世界的な原子力ルネッサンスへの貢献
- ・エネルギー安全保障上の必要性
- ・ 地球温暖化対策上の重要性
 - ⇒ 原子力への期待、責任の上昇

○大学の状況

- ・工学系学科全体の人気低下
- ・原子力系学科の人気低下
- ・実験・研究設備の老朽化
- ・学科の大括り化により体系的専門教育が困難
 - ⇒ 優秀な技術者・研究者の確保・育成が課題

原子力の取組

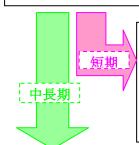
工学系全体の取組

○ 原子力人材育成の在り方研究会 (平成 18 年度)

- ・産官学の関係者が人材問題について議論(座長:原産協会服部理事長)
- ・短期的課題・具体的取組:原子力人材育成プログラムの実施方針を検討
- ・中長期的課題・取組:継続的な検討の必要性を確認:

課題提起:人材需給定量的分析、ロードマップの策定、国際的人材育成、

人材マップ・技術マップ 他



○ **原子力人材育成プログラム** (平成 19 年度~21 年度)

- ・文部科学省と経済産業省が共同実施
- ・大学・大学院、高等専門学校の人材育成を支援
- ・内容:原子力基礎教育研究の充実、インターンシップの充実、 教育機会の提供、コアカリキュラム整備、

基盤技術分野の研究活動支援

〇 **原子力人材育成関係者協議会** (平成 19 年度 \sim)

・原子力人材に係る中長期的課題について、産官学の関係者が業界の枠を超えて、 継続的に検討し、関係者が認識を共有し、取組の整合を図り、適宜提言等を行う

(座長:原産協会服部理事長)

課題:・人材需給データ調査・長期需給予測 (現状把握/将来予測)

・ロードマップの策定 (課題抽出/関係者の認識を合わせ)

国際的人材育成

→ 検討実施中

○ 産学人材育成パートナーシップ(平成 19 年度~)

- 文部科学省と経済産業省が主催
- ・日本の人材育成の横断的課題や業種・分野的課題について幅広く検討 (議長:日本経団連榊原副会長、国立大学協会梶山副会長)
- 9分科会:化学、機械、材料、資源、情報処理、電気・電子、

● 原子力、経営・管理人材、バイオ

*:原子力人材育成関係者協議会は、産学人材育成パートナー シップの原子力分科会に位置づけられる。

原子力人材育成関係者協議会 報告書 (平成 20 年 7 月)

- 原子力分野の人材に係る定量的分析結果
 - 原子力人材育成ロードマップ (中間取り纏め)
 - ・長期予測:人材需要は増加
 - ・基本的取り組みの方向性(検討継続):
 - ・夢/やりがいの提示、・人材育成
 - ・理解と信頼の獲得